義齒牀装着＝對スル口腔前準備 トシテノ外科的考察

石 橋 勇 夫

Chirurgische Beobachtungen über den Vorbereitungen des Mundhöhle bei der Herstellung der Prothese

Aus der Kyushu Zahnärztlichen Hochschule zu Fukuoka, Japan
(Vorstand: Prof. Okino.)

Von

Dr. Isao Ishibashi

齒牙補綴＝依ツテ缺損齒ガ完全＝補綴サレルモノデアルガ故ニ、口腔内ノ診査ハ詳細＝行フ要ガアル。柔軟ナル組織デアルカ或ハ硬固ナル組織デアルカト云フコト＝關シテ充分＝診査シ又治療セル齒牙ガ果シテ保持的能力ガアルカ或ハ保持的價値ノアルモノカニツキ診査セネバナラス。如何ナルモノガ保持的價値ノアルモノカ、或ハ保持的能力ノアルモノカト云フコトガ吾人ノ直面スル二ツノ問題デアル。保持的能力アリ又價値アル齒牙ハ治療ヲホドコシ、他ノ總テノ齒牙ハ拔去スベキデアルト云フコトハ治療ノ最初＝於テ當然考慮セラレネバナラス。義齒牀製作ハ先ヅ拔齒＝始マリ、殘存齒ノ治療ヲ以テ口腔内ノ療法ヲ終ルモノデアル。

保存療法ヲ行フモ尙拔去セネバナラス如キ崩壞甚ダシキモノハ當然拔去セネバナラス。此ノ際細菌層ハ除去セラレルノデアル。若シ拔去セラレザル場合＝於テハ正常ナル拔齒創ノ感染スルコトハ明カナル事實デアル。又同時＝拔齒前＝於テ感染ノ源泉トモナルベキ齒石除去ヲ行フ必要ガアル。補綴裝置ヲ行フ前準備(印像採得)前＝拔齒層ガ完全治癒ヲナス迄一定ノ期間＝ハ即時義齒(假義齒)ヲ製作スベキデアル。若シ一定期間ヲ置キ得ル場合＝ハ時間ト費用ノ節約ヲ行ヒ得ルモノデアル。患者ノ急ヲ要スル場合＝ハ時間ヲ節約センガ爲＝處置ノ急速ナルコト粗雑ナル結果、後＝至リ改造ノ必要ヲ生ズルモノデアル。瘡面ノ治癒ハ影響ノ大ナルモノデアルガ故＝補綴裝置ヲ作製シテ後ノ結果＝於テ危險ヲ及ボサル様ヤ、早メ＝行ヒ同等効果ヲ以テ治癒期間ヲ短縮スルコトヲ希フモノデアル。正確＝知ラント欲スル＝ハ拔齒創ノ治癒傾向ヲ檢スル必要ガアル。Euler, Meyer ハ正常若シクハ異常状態＝アル拔齒創ヲ動物實驗＝依リテ研究シ發表シタ。

動物實驗ハ人體ト同様＝考ヘラルベキモノデハナイガ、人體＝於ケルト同様＝其ノ重心ナル

點ニ於テハタゞ得ルトコロガアツタコトヲ吾人ノ經驗ニ依リ知ルコトヲ得タ。Stein Hardt 氏ノ屍體ニ關スル發表ハ三個ノ屍體ヨリ稀有ナル拔齒創ノ所見ヲ發表セルモノデアル。Siegmond 氏ノ意見ヲ歡迎セルモノデアルコト所見ニ依リテ吾人ハ動物ト人類ノ拔齒創ハ殆ド同ジ狀態デ經過スルモノデアルガ、人類ノ治癒經過ハ動物ニ比シテ著シク緩慢ナルモノデアル。此ノ實驗ノ範圍ニ於テ行ヘル結果ハ Euler 氏及ビ Meyer 氏ノ研究ニ近キモノヲ得タガ、コヽニ於テハ其ノ結果ノミヲ述ベル。

口腔粘膜上皮ハ口腔内ニ於ケル創傷ノ治癒ニ重要ナル役目ヲ有スルモノデアルガ故ニ拔齒ノ際ニ於テハ必ず保護セラルベキモノデアル。拔齒ノ際ニ於テ鉗子ヲカケタル部分ニ挫傷及ビ裂傷ヲ起サズト辨明シ得ルモノガアルデアラウカ。

之ニ反シテ鉗子口ヲ擴大シ骨縁ヲ超ヘテ骨ト共ニ擱ミ拔齒鉗子ト共ニ骨鉗子ノ役ヲモ兼ねテ作用セシムルトキニ、骨ノ銳縁ヲ同時ニ除去シ吸收機轉ヲ容易ナラシムルコトヲ推奨スルモノデアル。此ノ時ニ於テ創面ニハ上皮ヲ生ジ創傷ノ治癒ヲ速カナラシムルモノデアル。拔齒ノ際ニ瘡縁ニ指壓ヲ加ヘ又創縁ノ剩餘部ハ定位縫合ヲ加ヘテ置クト上皮發生ヲ良好ナラシムルモノデアル。

拔齒創ノ治癒經過ヲ短縮スルト云フコトガ吾人ノ容易ニナシ得ルトコロトナツタガ、コノ事ハ將來義齒牀ノ安定ト云フコトニ必要ナルコトデアル。創傷ノ「タンポン」ヲ行フコトハ感染ノ事實ガ存在スル場合ニロヲ開ケルタメニ行フモノデアル。

他ノ場合ニ於テ「タンポン」ハ治癒經過ニ必要ナル血栓ノ形成ヲ妨ゲテ治癒ヲ遲延セシメルモノデアル。感染セル場合ハ勿論別個ノ問題デアル。